

熊本県内介護事業所における新型コロナウイルス感染症に関するアンケート結果についての記者会見

3月30日(火)県庁にて、藤田事務局長、川上看護部長、作取施設長、井長事務局次長、笹原さん、桑原の参加で、昨年12月～1月にかけて行った介護事業者アンケートの記者会見を行いました。アンケートの7月～9月の経営状況に影響があった事業所が41%、特に衛生用品の不足や値段の高騰での経営への影響。介護職員の心配・課題について報告しました。今後も引き続き介護現場の要望や取り組みを国・県へ訴え、ますます処遇改善に取り組みたいです。

八王寺の杜 桑原 山人



KKTニュースで報道されました。

消費税導入33年目の怒りの宣伝行動

4月1日(木)元パルコ前で、消費税導入33年目の怒りのスタンディング宣伝行動が行われ市民にアピールしました。1989年4月の消費税導入から4月1日で33年目に入ります。

昨年からのコロナ感染拡大で売り上げが落ち込み持続化給付金や家賃支援給付金など対策が取られましたが不十分で倒産や閉店が相次いでいます。「こんな時こそ、消費税を5%に戻せ！」の声を上げました。各団体から60名以上が参加しハンドマイクで訴えました。民医連は3名が参加し、井長さんが「消費税は貧困と格差の拡大に追い打ちをかけてきました。そもそも所得の低い方ほど重い負担がのしかかる税制が消費税です。まずは5%に戻し、景気回復を！」と訴えました。

